

[様式 9 - 1]

## 福祉サービス等第三者評価結果

## 総合評価

受診施設名	吉美保育園	施設種別	保育所 (旧体系： )
評価機関名	社団法人 京都府保育協会		

平成23年1月20日

総 評	<p>吉美保育園は、昭和27年4月、吉美地区自治会と吉美地区民生児童委員会を経営母体として、京都府知事の認可を受け開設されました。その後、昭和61年4月に、社会福祉法人吉美福祉会を設立し、旧村役場の庁舎を利用していた園舎を平成元年1月に新設して、現在に至っています。山や田に囲まれたとても静かな地で、自然環境にも恵まれています。</p> <p>園舎の両隣には、小学校と共同して使用できる大プールや運動場があり、近隣の小学校との交流にも進んで参加されています。</p> <p>管理者は、地域と一体となった保育を進めていきたいという強い思いを持ち、蚕の育成・鮭の養殖や、地元の伝統でもある和太鼓の普及にも積極的に取り組み、子どもたちの様子を地域の情報誌にも掲載して、住民に紹介しています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者は、職員及び利用者から信頼され、職員や利用者に対しても過ごしやすい環境を整えています。</li> <li>・保育に関しては、子どもの状態を考えた細やかな配慮があり、子ども達が安心して生活できる環境が保障されています。</li> <li>・玄関ホールに設置されている水槽には、鮭の受精卵を育てており、稚魚に成長するまでの間、いきものの「いのち」の尊さを学んでいます。また、かつて当地域において盛んであった蚕の育成に取り組み、桑の実（ふなめ）取り、繭人形作り、生糸等、地域の伝承を守っています。</li> </ul>
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種書類は整っていますが、記録の見直しが不十分であるため、次年度に繋げるためにも改善した点を記録に残すなどの方法をとられることが望ましいでしょう。</li> <li>・食中毒に対するマニュアルは整備されていますが、発生時における対応方法を職員間で検討し、共有されることが望ましいでしょう。</li> </ul>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

# 京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

---

## 【保育所版】

# 評価結果対比シート

---

受診施設名	吉美保育園
施設種別	保育所
評価機関名	社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	平成23年1月20日（木）

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	A	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	非該当	非該当
	I-2-(2) 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	A	A
		② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A
		③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	A	B
		④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	A	A
		⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	A	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	A	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	B
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

- ・保育理念、基本方針、保育目標は「入園のしおり」に明文化され、職員や利用者にも周知されています。
- ・保育課程は園の基本方針に基づき、地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されています。しかし、指導計画等の見直しは定期的に行われていますが、改善すべき課題は口頭での確認になっているため、改善箇所を記録に残すなど工夫して次の指導計画に反映されることが望ましいでしょう。
- ・管理者は自らの役割と責任について、職員に表明しています。
- ・遵守すべき法令等については、研修会等に参加して、理解・把握に努めており、随時、職員会議等で口頭で伝達していますが、職員が正しく認識するためにはリスト化される等の方法をとられることが望ましいでしょう。
- ・管理者は指導力を発揮され、保護者や地域の連携を含めて質の向上に努めています。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A	
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A	
		① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A	
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A	A	
		II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
			② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	B	B
	③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	A		
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	B	A		
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A		
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A	
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A	
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	A	
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A	

[自由記述欄]

・職員は定期的に自己評価をし、園長と個人面談を行っています。園長は職員の思いを聴き取り、自己評価についての課題、問題点を明確にし、職員の資質の向上に努めています。

・職員の就業状況や意向については、積極的に把握し改善に取り組んでいます。職員は管理者を信頼しており、十分に相談できる環境にあります。職員の有給休暇の取得状況や時間外勤務労働も定期的に把握しており、職員の働きやすい環境づくりに配慮しています。

・職員の福利厚生は、職員間の交流を深める行事や全職員の健康の維持に取り組み、インフルエンザ等の予防接種を励行しています。

・職員の研修については、資質の向上を図るために積極的に取り組んでいます。また、研修成果の評価及び見直しが行われていますが、個別の研修計画を策定されることが望ましいでしょう。

・実習生の受け入れやボランティア受け入れについてのマニュアルがあり、受け入れ体制を整備しています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	B
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	A	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	A	A
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
	Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B
② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。			A	A
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	B	B

[自由記述欄]

・行事終了後は、アンケート調査を実施し、その内容や結果について開示していますが、日常的な意見や要望についても同様の仕組みを構じられることが望ましいでしょう。

・第三者評価を受診するにあたり、園長、主任を中心に自己評価委員会を立ち上げています。また、園内において公開保育を実施し、自己評価を行って改善に向けた取り組みを行い、課題を職員間で共有しています。

・施設の活動を地域に知らせるため、情報誌を活用されています。

・園児の転園、卒園にあたり、保育終了後も利用者等が相談できる担当者や窓口が設置されていますが、必要に応じて文書化されることが望ましいでしょう。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかがわられるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	B
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A

[自由記述欄]

・食生活においては、保護者に給食試食会などを行うことによって、子ども達の食事の状況を伝え、子ども達は、食育として夏野菜の収穫やクッキングなどをして十分に食事を楽しめる内容が確立されています。

・アレルギー疾患の子どもに対しては、専門医の指示のもと、アレルギー除去食を提供しています。

・子どもの午睡は、3歳児後半で終了します。眠い子への配慮として状況に応じた環境整備に努められています。

・SIDSの確認についての記録用紙は作成されていますが、活用されていません。今後、記録用紙の利用及びその必要性についてもう一度職員間で周知徹底をし、活用されることが望ましいでしょう。

#### IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	非該当	非該当

#### [自由記述欄]

- ・個別面談は、5歳児を全員、その他の年齢は希望に応じて行っています。
- ・虐待に関しては、状況に応じて、保護者への聞き取りを行い、子どもを守る体制が職員間で十分共有されています。

#### IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	B	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	C	B
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	B	B
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	B	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	C	B

#### [自由記述欄]

- ・食中毒に対するマニュアルがあり、その対応について調理場の職員との連携は緊密に取れていますが、季節に応じた対処方法を検討・確認し、職員間で共有されることが望ましいでしょう。
- ・事故防止のためのチェックリストはありますが、活用されていません。今後職員間で結果の共有を図られることが望ましいでしょう。
- ・不審者侵入時対応に関する研修を受講されています。園舎周りの監視カメラも利用されていますが、マニュアルの定期的な見直しなどを行い、安全対策に努められることが望ましいでしょう。